

様式第1号 政務調査費収支報告書 (条例第8条①、②)

平成25年 2月22日

上ノ国町長 工 藤 昇 様

議員名 市 山 昭 義



平成24年度政務調査費に係る収支報告について

上ノ国町政務調査費の交付に関する条例第8条第1項(第2項)の規定により、別紙のとおり平成24年度政務調査費収支報告書を提出します。

## 政務調査事業報告書

### 1 事業名

調査研究事業

### 2 事業内容

- (1) 平成24年11月17日  
株式会社わくわく園  
鹿児島県始良市加治木町反土4-15-249
- (2) 平成24年11月18日  
株式会社シーアグジャパン  
鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北3912
- (3) 平成24年11月19日  
株式会社ウエストコム鹿児島工場  
鹿児島県肝属郡南大隅町佐多伊座敷3846

### 3 成果

- (1) 桑の葉を利用した6次産業について  
加治木町は、古くから養蚕が盛んな町で農薬・化学肥料不使用の桑の葉を栽培し、桑の葉特有の酵素を利用したお茶を健康飲料として販売している。  
栽培に必要な畑は借り上げし、工場及び店舗を建設し6次産業として経営している。
- (2) ハマグリの陸上養殖について  
海水を陸上に設置した砂なし水槽にポンプで揚水し、数十トンのハマグリを陸上養殖という独自の技術により、自然の餌を与え、きれいな海水の中で丁寧に育て養殖している。  
また、砂なし水槽で育てることから、貝に砂が入らず砂抜きの必要がないため手軽に食べることができます。  
陸上養殖であることから、高齢の漁業者でも負担が少なく作業でき上ノ国町のバカ貝が陸上養殖出来ないかと考える。
- (3) サメ肝油を利用した石けん製造について  
佐多岬オーガニクスの工場は、九州本島最南端、佐多岬近くにあり  
ます。  
野山には、月桃、ヨモギ、どくだみ、ソテツ等が自生し、フルーツも栽培され、山には良質な渓流水が溢れ、海洋からは豊富なミネラルを含む海塩が採れます。そんな大自然の恵を最大限、化粧品に使い製造販売しています。

- 注) 1 事業名には収支報告書の、2 支出の科目区分により記入する。  
(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇会議、〇〇地区広聴・・・等)
- 2 事業内容及び成果には、具体的な内容とその成果を記入のこと。

## 別記様式

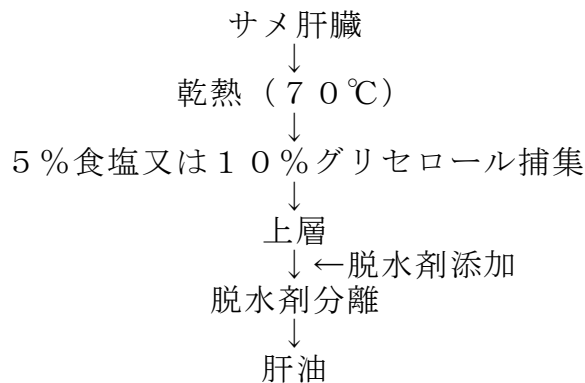
現在、上ノ国町でアブラツノザメが水揚げされています。アブラツノザメは肝臓油を取り除き、皮をむき、むき鮫として出荷し、肝臓油は廃棄物として処分されています。

この肝臓油を使用して石けんがつかれないかお願いした所、つくっていただける事になりました。その後、肝臓油を会社の方に送り試していただいた結果、石けんが製造可能な事がわかりました。ただし、臭いがある為、商品化はまだ難しいとの事でした。

しかし、サメ肝臓油の脱臭方法があります。サメ肝臓油を脱臭方法により酸化しにくく、かつ魚臭の低減された油を製造し、この肝油を使用して石けんの製造が可能になり、販売につながればと思っています。

### 脱 臭 方 法

サメ肝臓を気相中において、65℃～70℃で加熱することにより油を滴り落とす。この落ちた油を食塩水又はグリセリン溶液に捕集し、油を食塩水又はグリセリン溶液から分離する。次に、その油に強酸と強塩基からなる無機塩の乾燥剤と十分接触させ、油の中の水分を除去し、この乾燥剤を分離する。得られた油は酸化しにくく、かつ魚臭が低減されている。



サメ肝臓から肝油の新規調整法

- 注) 1 事業名には収支報告書の、2 支出の科目区分により記入する。  
(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇会議、〇〇地区広聴・・・等)
- 2 事業内容及び成果には、具体的な内容とその成果を記入のこと。

平成24年11月17日

株式会社わくわく園 桑の葉を利用した6次産業について



平成24年11月18日

株式会社シーアグジャパン ハマグリの上陸養殖について



平成24年11月19日

(株)ウエストコム鹿児島工場 サメ肝油を利用した石けん製造について

